

平成 18 事業年度

決 算 報 告 書

自：平成 18 年 4 月 1 日

至：平成 19 年 3 月 31 日

国立大学法人富山大学

# 平成18事業年度 決算報告書

(自：平成18年4月1日 至：平成19年3月31日)

国立大学法人富山大学  
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	14,578	14,577	0	
施設整備費補助金	364	397	33	(注1)
施設整備貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	96	34	-61	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	77	77	-	
自己収入	16,476	16,555	79	
授業料及び入学金及び検定料収入	5,345	4,590	-754	(注3)
附属病院収入	11,003	11,736	733	(注4)
雑 収 入	128	229	101	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,568	1,350	-217	(注6)
長期借入金収入	534	533	0	
承継剰余金	-	9	9	(注7)
旧法人承継積立金	80	27	-52	(注8)
目的積立金取崩	45	373	328	(注9)
計	33,818	33,937	119	
支 出				
業務費	24,490	24,894	404	
教育研究経費	14,192	13,682	-509	(注10)
診療経費	10,298	11,211	913	(注11)
一般管理費	5,410	4,708	-701	(注12)
施設整備費	975	1,007	32	(注13)
補助金等	96	34	-61	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,568	1,242	-325	(注15)
長期借入金償還金	1,279	1,277	-1	(注16)
計	33,818	33,164	-653	
収入－支出	-	772	772	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、耐震対策事業費38百万円及び災害復旧事業費2百万が措置されたことなどにより、予算額に比して決算額が33百万円多額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、見積時点でCOE経費を組み入れていたが、預り金処理をしたことに伴い予算額に比して決算額が61百万円少額となっております。
- (注3) 授業料及び入学金及び検定料収入については、平成19年度入学生の授業料前納未実施により756百万円少なかったことなどにより、予算額に比して決算額が754百万円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、病床稼働率が平均91.32%と高く維持できたことや、診療単価が目標値と比較して入院1,619円、外来282円高くなったことなどにより、予算額に比して決算額が733百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については研究関連収入35百万円の増加及び損害賠償補償金収入30百万円の増加などにより、予算額に比して決算額が101百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、複数年契約に係る繰越により146百万円の減少及び寄付金収入が16百万円の増加したことなどにより、予算額に比して決算額が217百万円少額となっております。
- (注7) 承継剰余金については、旧富山医科薬科大学の受託研究分2百万円及び損害賠償金8百万円の処理を行っております。
- (注8) 旧法人承継積立金については、附属病院の環境整備充実のため、目的に沿って外来改修工事を行い27百万円支出しています。
- (注9) 目的積立金取崩については、附属病院の医療用設備充実のため、目的に沿って診療機器等の購入を行ったため、予算額に比して決算額が328百万円多額となっております。
- (注10) 授業料前倒額の予算訂正を行わなかったことに伴い、予算額に比して決算額が509百万円少額となっております。
- (注11) 診療経費については、附属病院収益増に伴う経費増357百万円、積立金の取崩しに伴う増347百万円、退職手当の見積額との差額増150百万円などにより、予算額に比して決算額が913百万円多額となっております。
- (注12) 一般管理費については、役員の給与が予算よりも10百万円減、職員の退職手当が予算よりも217百万円減、及び清掃費等の管理経費の節減などにより、予算額に比して決算額が701百万円少額となっております。
- (注13) 施設整備費については、耐震対策事業費38百万円及び災害復旧事業費24百万の支出があったことなどにより、予算額に比して決算額が32百万円多額となっております。
- (注14) 補助金等収入については、見積時点でCOEを組み入れていたが、預り金処理をしたことに伴い予算額に比して決算額が61百万円少額となっております。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、複数年契約の受託研究等が99百万円繰り越されたこと及び見込額と実績の差額などにより、予算額に比して決算額が325百万円少額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、予算策定時点に比して金利の変動により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。

## ○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費及び一般管理費に含めて表示しています。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息は406百万円である。その内決算報告書上では320百万円が長期借入金償還金に含めて表示されており、46百万円が業務費に含めて表示されています。